学校番号	1006

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語構文Ⅰ	2	2	三訂版　基礎を固める 英語構文ノート９０

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語コミュニケーションⅠで学んだ文法事項を復習し､文法のエッセンスを学習します｡WritingやSpeakingにも応用し、自己表現の幅を広げていきます。文法の型を基にした読解や発信のための知識を学びます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を１文聞き取ったあと、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる	・待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好きなもの嫌いなもの､学校生活など)について複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語力（特に文法、構文、語彙）が習得できている。 ・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・構文を学び自己発信に使える表現をできる。 ・外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合うことができる。	・構文の問題集に取り組むが、できるだけ自学できる。 ・主体的、自発的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

<table>
<tr><th>学期</th><th>課
“題材名”</th><th>領域</th><th>評価規準</th><th>評価方法</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="2">1
It を含む構文
2
不定詞を含む構文</td><td>書くこと</td><td rowspan="2">a: 文法事項（不定詞・it 構文）をしっかり理解し、聞いたり、話したり、読んだり、書くことができる。
b: 習得した文法事項、構文、語彙などを用いて、正しく英語で表現することができる。また、習得した文法事項、構文、語彙などが用いられた英文を読むことができる。
c: 言語対する理解を深め、英語で情報や考えなどを的確に理解したり表現したりする活動に取り組み、コミュニケーションが取ることができる。</td><td rowspan="2">小テスト(適宜)
定期考査
提出物
授業観察</td></tr>
<tr><td>話すこと
（発表）</td></tr>
<tr><td colspan="3">中間考査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3
分詞を含む構文
4
動名詞を含む構文
5
関係詞を含む構文</td><td>書くこと</td><td rowspan="2">a: 文法事項（分詞・動名詞）をしっかり理解し、聞いたり、話したり、読んだり、書くことができる。
b: 習得した文法事項、構文、語彙などを用いて、正しく英語で表現することができる。また、習得した文法事項、構文、語彙などが用いられた英文を読むことができる。
c: 言語対する理解を深め、英語で情報や考えなどを的確に理解したり表現したりする活動に取り組み、コミュニケーションが取ることができる。</td><td rowspan="2">小テスト(適宜)
定期考査
提出物
授業観察</td></tr>
<tr><td>話すこと
（発表）</td></tr>
<tr><td colspan="3">期末考査</td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="2">6
否定構文
7
助動詞を含む構文
8
仮定法を含む構文</td><td>書くこと</td><td rowspan="2">a: 文法事項（助動詞・仮定法）をしっかり理解し、聞いたり、話したり、読んだり、書くことができる。
b: 習得した文法事項、構文、語彙などを用いて、正しく英語で表現することができる。また、習得した文法事項、構文、語彙などが用いられた英文を読むことができる。
c: 言語対する理解を深め、英語で情報や考えなどを的確に理解したり表現したりする活動に取り組み、コミュニケーションが取ることができる。</td><td rowspan="2">小テスト(適宜)
定期考査
提出物
授業観察</td></tr>
<tr><td>話すこと
（発表）</td></tr>
<tr><td colspan="3">中間考査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9
接続詞を含む構文
10
比較構文</td><td>書くこと</td><td rowspan="2">a: 文法事項（接続詞・比較構文）をしっかり理解し、聞いたり、話したり、読んだり、書くことができる。
b: 習得した文法事項、構文、語彙などを用いて、正しく英語で表現することができる。また、習得した文法事項、構文、語彙などが用いられた英文を読むことができる。
c: 言語対する理解を深め、英語で情報や考えなどを的確に理解したり表現したりする活動に取り組み、コミュニケーションが取ることができる。</td><td rowspan="2">小テスト(適宜)
定期考査
提出物
授業観察</td></tr>
<tr><td>話すこと
（発表）</td></tr>
<tr><td colspan="3">期末考査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">11
譲歩構文
12
倒置構文・無生物主語構文</td><td>書くこと</td><td rowspan="2">a: 文法事項（譲歩、倒置構文・無生物主語）をしっかり理解し、聞いたり、話したり、読んだり、書くことができる。
b: 習得した文法事項、構文、語彙などを用いて、正しく英語で表現することができる。また、習得した文法事項、構文、語彙などが用いられた英文を読むことができる。
c: 言語対する理解を深め、英語で情報や考えなどを的確に理解したり表現したりする活動に取り組み、コミュニケーションが取ることができる。</td><td rowspan="2">小テスト(適宜)
定期考査
提出物
授業観察</td></tr>
<tr><td>話すこと
（発表）</td></tr>
<tr><td colspan="3">学年末考査</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度